

山梨県立わかば支援学校ふじかわ分校

地域支援だより

令和3年7月発行
第27号



学校見学会へのご参加 ありがとうございました



例年はオープンスクールとして、福祉事業所など関係機関の方々や地域の方々に学校の様子を見学していただいておりますが、今年度は感染症予防として、本校に就学・進学や転学を希望している方を対象に「見学会」を開催しました。

6月29日(火)の小学部見学会では、体育と音楽の授業に取り組む様子を見ていただきました。また、7月8日(木)の中学部見学会では、作業学習として「農園班」と「手工芸班」の作業の様子を見ていただき、本校の雰囲気や学習の様子について知っていただくことができたかと思えます。



本校への就学・進学や転学を希望される場合には、今後以下のような手順で進めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

～10月頃	3学期
学校見学(保護者・本人) ↳ 今回の見学会に不参加の方のみ	一日入学(本人) 入学説明会(保護者)
体験学習(本人)	
教育相談(保護者)	

入学等が決定したら

※上記の予定と並行して、市町村の教育委員会と就学・進学についての相談や総合教育センターでの教育相談等を進めていただきます。

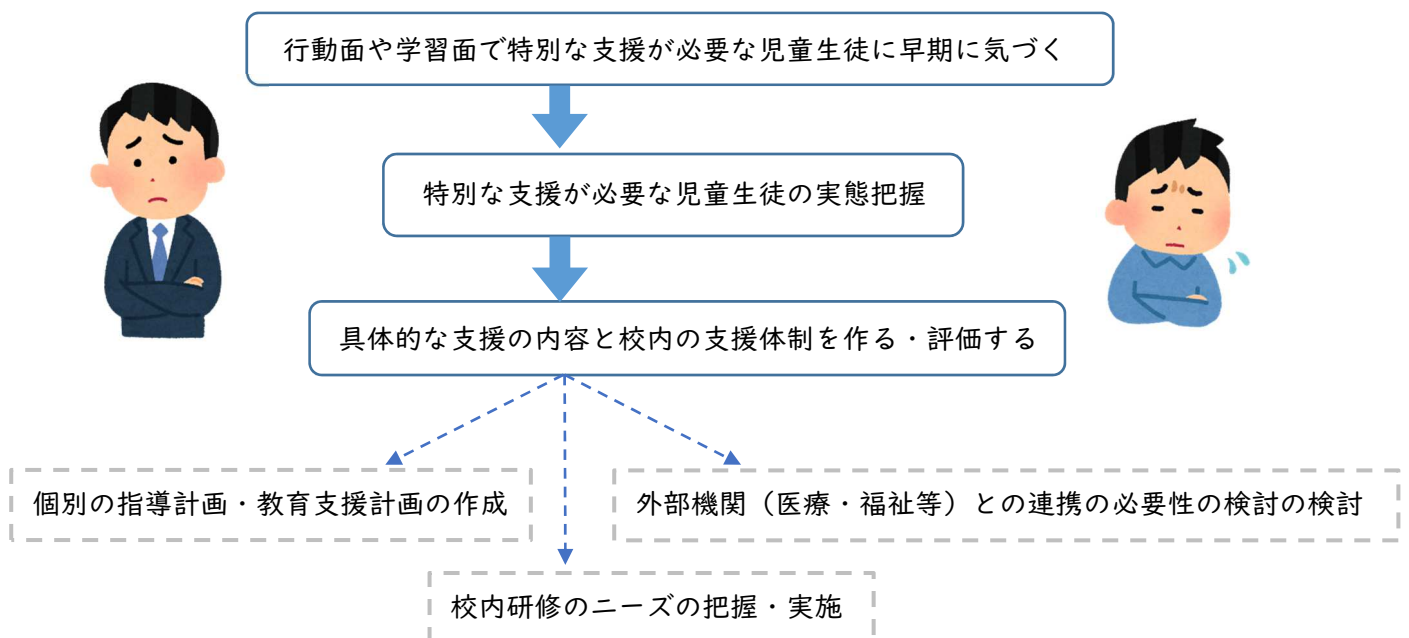
なお、今回見学会に参加されなかった方でも、就学・進学や転学のご相談は随時行っておりますので、お早めに地域支援担当までご連絡をお願いいたします。

校(園)内委員会を活用していますか？

本校に訪問支援のご依頼をいただく際に、「校(園)内委員会は開催されましたか？」とおたずねすることがあります。校(園)内の「気になる子」「課題をかかえた子」に関して、わざわざ「校(園)内委員会」を開く必要はないのでは？情報共有以外に何をしたらいいの？というご質問をいただくこともあります。

「校(園)内委員会」を機能的に行うことで、多くの職員が情報共有をできるだけだけでなく、特別な支援を必要とする児童生徒の支援に園や学校組織全体として取り組むことができ、支援方法の幅も広がります。ぜひ校(園)内委員会を活用してみたいはいかがでしょうか。

校(園)内委員会の主な役割



校(園)内委員会の構成メンバー

委員会を行うメンバーは、目的や学校の状況に応じて決めます。人数が多いと情報や知恵は多く集まりますが、開催の日を設定することが難しくなります。したがって、「固定メンバー」と、必要に応じて参加する「臨時メンバー」に分ける等の工夫をしてもいいかと思います。

【活用できる校(園)内の人材】

- ◆ 対象児童生徒の情報を把握している人材 … 学級担任、教科担任、支援員、養護教諭
- ◆ 担任の支援に入りやすい人材 … 学年主任、教科担任
- ◆ 決定や判断をする権限をもつ人材 … 校(園)長、教頭
- ◆ 特別支援教育の知識や専門性のある人材 … 特別支援学級担任、通級指導教室担当、スクールカウンセラー

校（園）内委員会の運営

校（園）内委員会は、常に児童生徒や学級の状況を把握し、必要な対策を検討することが必要です。そのためには、工夫して時間を生み出したり、年間や各月の行事予定に位置づけたりして、定期的に開催することが望ましいでしょう。また、必要に応じて臨時に開催することも、年度初めに共通確認しておくといわれます。

委員会の具体的な内容例



気になる子どもとそうでない子どもをおおまかに分けることが目的

支援が必要な児童生徒をスクリーニングする

- ・各学級担任から、問題をかかえている児童生徒を報告してもらう。
- ・関係者の情報提供や、チェックシート（※1）等を用いて、実態把握を行う。

（資料Ⅲ-1）通常の学級における実態把握のためのチェックシート（小学生用）

【実態把握のためのチェックシート】（小学生用）

年 組 氏名（ ）

【学習面における気づき】

- 1 言葉による指示の理解が難しい。
- 2 適切な速さで話すことが難しい（たどたどしく話す。とても早口である。）
- 3 単語を羅列したり、短い文で内容的に乏しい話をする。
- 4 初めて出てきた語や普段あまり使わない語などを読みまちがえる。

※1 実態把握チェックシート（例）

支援が必要な児童生徒の実態を詳細に把握する

- ・実態把握整理表（※2）等を利用して、さらに詳細な実態把握を行う。

「できないこと」だけでなく
「できること」「本人の困り感」にも目を
向けると、解決のヒントになることも。

学校（園）内の様子だけでなく、
保護者から家庭での様子を聞くことも有効。

（資料Ⅲ-4）個別の実態把握表

取扱注意			
個別の実態把握表			
児童（生徒）氏名		（性別 男・女）	
記入者氏名		記入年月日	年 月 日
【課題となる事柄】			
【生活や学習の状況】（学習面、健康面、運動面、心理面、社会性などについて記入）			

※2 実態把握整理表（例）

具体的な支援方法を考える

- ・長期目標（1～3年後の目指す姿）や短期目標（学期ごとの目指す姿）を明確にする。
- ・いつ（時間帯）、誰が（教師）支援を行うか、できるかぎり具体的に役割分担する。
→「困っていることをどう支援するか（減らすか）」の視点だけでなく、「今できることをどう伸ばすか（増やすか）」の視点で支援方法を考えることも重要。

多くのアイデアを出し合い
実行可能な支援をどんどん取り入れる



支援の困難さや緊急度に応じて優先順位をつけることが重要です。支援方法を検討する参考として、外部専門家を活用することも有効です。

【 外部専門家の例 】

配置のスクールカウンセラー 、 市町村教育委員会
スクールソーシャルワーカー（市町村教育委員会配置）
ふじかわ分校センター的機能（訪問支援、PT等専門家活用、教育相談）
総合教育センター就学支援アドバイザー（市町村教育委員会から要請）

支援の評価をする

- ・定期的に（学期末等）、支援によって児童生徒がどう変化したか、支援が適切であったかを評価する。
- ・年度末には、次年度への引継ぎ事項等の確認を行う。

校(園)内委員会を運営していく際の ★ ポイント ★

- ・資料作成に時間をかけすぎない。（重要なことのみ具体的に資料として残す）
- ・会議はアイデアの出し合いが中心。短時間で行う。（資料を読むのは各自で）
- ・支援のキーワードは「楽に取り組める」「役に立つ」

役立たせるためのカギは「具体性」です！



校(園)内委員会では、児童生徒の情報共有も大事ですが、その先の「どう支援をしていくか」が大きなカギになります。個々の目指す姿（目標）をイメージし、対象の児童生徒に関わる教員間で、具体的に役割分担をしていきましょう。



また、実施した支援に対しては、定期的に評価・修正をしていくPDCAサイクルも重要です。

出典：「よりよい連携と支援のための 特別支援教育コーディネーターハンドブック」

山梨県教育委員会

山梨県立わかば支援学校ふじかわ分校

〒400-0601

南巨摩郡富士川町鯉沢5673-12

TEL：0556-27-0067

FAX：0556-20-2007

E-mail：wakafujy@kai.ed.jp

HP：http://www.kai.ed/wakafujy/

地域支援担当：豊嶋千鶴 佐野早百合

佐野道也

